

農業集落排水の 事業停止求める

新城市民ら監査請求

新城市が市南部地区で09年度から始める農業集落排水事業について、無駄な事業で市に損害を与えるなどとして31日、同地区の住民らが市長に対し、事業の執行を停止するよう求める住民監査請求を起した。

請求書によると、事業の対象は724戸。総事業費は約30億円。市の負担は市債の利子分を含めると、約9億6千万円になるという。農業集落排水事業にかわって「合併処理浄化槽による個別処理を選択すれば、大幅な事業費の圧縮を図ることができる」としている。試算では合併処理浄化槽なら、2億7千万円で汚水処理が可能という。